



2022年10月31日

各位

会社名 J B C Cホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 東上 征司  
(コード番号 9889 東証プライム)  
問合せ先 執行役員 経営企画担当 大島 貴幸  
(TEL 03-5714-5171)

### 通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、本日開催の取締役会において、2022年5月11日に公表いたしました2023年3月期通期連結業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	56,500	3,300	3,400	2,350	150.06
今回発表予想(B)	56,500	3,600	3,700	2,550	162.69
増減額 (B-A)	—	300	300	200	—
増減率 (%)	—	9.1	8.8	8.5	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	55,934	3,083	3,227	2,245	140.26

#### (修正の理由)

2021年4月からスタートした中期経営計画「HARMONIZE (ハーモナイズ) 2023」の注力事業である超高速開発 (ローコード開発ツールとアジャイル開発を組み合わせた当社グループオリジナルの新しい開発手法)、クラウド、セキュリティが順調に伸長し、高付加価値ビジネスを主体とした事業構造への変革が加速しております。

当第2四半期連結累計期間 (2022年4月1日～2022年9月30日) は、対前年同期比で付加価値の高い超高速開発が大きく伸長し、クラウドやセキュリティのストックビジネスが堅調に拡大したことから、この傾向は年間を通じて継続するものと考え、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について当初予想を上回る見通しであります。

売上高については、年間を通じて前回発表した業績予想から変更はありません。

なお当社グループは、新しい働き方 (Style J) の実現に向け、第4四半期に首都圏のオフィス統合を実施いたします。これに関連する移転費用等については、業績予想に反映しております。

以上の状況を踏まえ、通期連結業績予想につきまして、上記の通り修正することといたしました。

## 2. 配当予想の修正について

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2022年5月11日)	31円00銭	31円00銭	62円00銭
今回予想		37円00銭	68円00銭
当期実績	31円00銭		
前期実績	26円00銭	32円00銭	58円00銭

### (修正の理由)

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付けております。剰余金の配当につきましては、経営体質の強化と将来のグループ全体としての事業展開を考慮しつつ、株主の皆様へ安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。

本日発表いたしました業績予想の修正を踏まえ、当社の財政状態、配当性向等を総合的に勘案し、2023年3月期末の配当予想につきましては37円とし、2022年3月期の年間配当予想を68円に修正することといたしました。

なお、経済動向の先行きが極めて不透明な状況ではありますが、当社といたしましては、収益力の状況や財務健全性、配当性向等も勘案しつつ、株主の皆様への利益還元についても十分な配慮を行ってまいります。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上